

広報委員会（第24期 第6回） 議 事 要 旨

1. 日 時 令和元年10月16日（水）11:30～13:00
2. 会 場 日本学術会議2階 大会議室
3. 出席者 渡辺委員長、大倉幹事、多久和幹事、荒川委員、伊藤委員、三成委員、渡辺（芳）委員、隠岐委員、辻委員、橋田委員、松宮委員、山川委員、原島委員
（ビデオ）岩崎委員
4. 配布資料
資料1－1 「学術の動向」編集分科会報告
資料1－2 ホームページ編集分科会報告
資料1－3 国際発信推進分科会報告
参考1 前回議事要旨
参考2 委員名簿

3. 議 事

冒頭、渡辺委員長から、新たに委員に追加した原島委員について紹介があった。

(1) 各分科会の進捗報告と課題

○「学術の動向」編集分科会

伊藤分科会委員長より以下のとおり報告があった。

- ・ 編集分科会からの提案で、「原子力と社会」をテーマに、様々な切り口から、シリーズで特集を企画している。
- ・ 課題とされている誌面の刷新については、連載のエッセイコーナーを新設し、大学教授やマスコミ関係など4名の執筆者にお願いすることになった。また、若手研究者の紹介コーナーについて、日本学術会議の若手アカデミーの協力を仰ぎながら進めていくことを検討している。

○ホームページ編集分科会

三成分科会委員長より以下のとおり報告があった。

- ・ 日本学術会議のホームページについては、日本語ページの一部について、予算の範囲内で改修を行うこととし、作業を進めてい

る。

- ・ トップページについては、現在のページ内容を整理し、構成を変更することとした。写真付きスライド、トピック、PICK UP イベントの欄を新設し、新着情報、ナビゲーションについては、これまでの情報を整理し、分かりやすい配置とした。
- ・ デザインについては、業者から提案のあった案の中から、分科会での審議、原島委員の意見を踏まえて、リニューアル案を決定した。

○国際発信推進分科会

隠岐分科会委員長より以下のとおり報告があった。

- ・ 前回4月の広報委員会からの半年間は、分科会としての活動は行っていないが、現在の課題としてはホームページ編集分科会と協力しながら、ホームページの英語ページの改善を行うことだと考えている。

また、隠岐委員より、各国のアカデミーのホームページの状況について報告があった。

(2) 日本学術会議ホームページリニューアルについて

○日本語ページ

- ・ 三成委員より、「現在のリニューアルを幹事会で説明した際、写真付きのスライドやトピックがページ上部に来るため、提言を公表した際は新着情報として、現在のページよりページ下部に表示されるため、提言が目立たないのではないか」との意見があったことが紹介された。

(それを受けての委員の意見は以下の通り)

- ・ ホームページは日本学術会議の「顔」であるから、ホームページを見た人は、その顔が誰に向いているのか、自分のほうに向いてくれているのかという点を見ていると思う。日本学術会議がどこを向いているかという議論と関係してくるが、その点では、リニューアル案は、重要な活動、重視しているトピックがページ上部の目立つところにあり、改善されているのではないかと。
- ・ まず、発信したい相手は誰かということになるが、一般市民がこのホームページを訪れた際に、大きな柱がまずあったほうがよい。研究者も日本学術会議のホームページで、自らの専門を調べ

ように思ってはならず、学術会議が何を重視しているのかというところを見ている。その点では、提言の新着情報は下の方でもいいのではないか。まず、分かりやすいページにして、アクセス解析を参考に、引き続き改善を検討するとうことでよいのではないか。

→ 日本語ページについては、現在の案でリニューアルを進めることとし、リニューアル後はアクセス解析を確認し、必要な場合は改善を行うこととされた。

○英語ページ

- ・ 英語ページについては、日本語ページと比べて、内容が充実していない。
 - ・ このページを閲覧しているのは海外の研究者だとすれば、学術会議がどういった活動を行っているのか、提言を中心に、内容を充実させてはどうか。
 - ・ 現在、提言の提出時には、タイトルは英訳を必須にしているか、アブストラクトは任意。アブストラクトを書いてもらえる数が増えれば、更にページを充実させることができるのではないか。本文はほとんど英訳されていないが、読みたい人はグーグル翻訳などを利用できるので、まずはアクセスできるようにすることが重要ではないか。
 - ・ デザインは、現在の日本語ページのテンプレートを使用し、必要な情報を英語ページように取捨選択すればよいのではないか。
- 以上の意見を踏まえて、英語ページの改善については引き続き検討することとされた。

○その他

- ・ https ではないから「安全ではない」と出てしまうので対応したほうがいいのではないか。
- TLS 化については費用面も関係するため、事務局で対応を検討していくこととされた。

(3) 意見交換

- ・ 「学術の動向」の誌面の刷新についてだが、現在の特集記事はシンポジウムのサマリーのような内容になっているが、もっとその問題や議論を掘り下げた記事を書いてほしい。そのためにはフォントやページ構成を変えることで全体のボリュームを増やした方がいいのではないか。
- ・ 一方で文量が増えると、執筆期間が増えるのでその点が難しい。ご意見については「学術の動向」編集分科会で検討したい。

(4) その他

次回は、来年4月総会時に開催することとされた。